

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座センター研修【選択研修第1回】

令和7年6月27日(金)10:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者37名

### 1 内容

【テーマ】「広報業務に係る SNS 活用の実際」

【講師】ディーシーティーデザイン

代表 えびな あきこ  
蝦名 晶子 氏



### 【経歴】

2004年に「ディーシーティーデザイン」を設立。Webサイトや紙媒体の企画から制作・活用提案・継続的な運用支援を行っている。クリエイター向けのセミナー講師のほか、経営者向けの講演なども行っている。「伝えるチカラで地域と人をつなぐ」をモットーに、効果的なPR方法を常に模索している。

### 【講義要旨】

- SNS利用時は、不用意な発言や誤解を招く言葉遣いに注意し、アカウントやパスワードを適切に管理することが重要です。
- 各 SNS の最新の利用者数や特徴を把握することが重要です。興味を持ってくれる人に届くように効果的なコンテンツ作りを心掛けましょう。
- 聴覚・視覚障害者にも配慮した情報発信を心掛けましょう。画像には必ず代替テキスト（ALT）を設定し、内容を簡潔かつ分かりやすく説明しましょう。また、赤い背景に黄色の文字など視認性の低い配色は避け、読みやすいデザインを意識しましょう。
- 情報過多の時代では、相手の脳に負担をかけない情報発信が重要です。効果的な発信のために、明確なゴールを設定しましょう。
- コンテンツを考える際は、常に初めて見る人の視点を意識することが大切です。対象となる興味のある人にしっかり届ける工夫をしましょう。悩んだ時や困ったことがあれば、AI を活用しながらアイデアを広げてみるのも良い選択です。
- 色の持つイメージを損なわないよう、使用方法や適用する場所を慎重に選びましょう。
- 著作権や肖像権に注意し、背景の映り込みや通行人の顔などに配慮しましょう。BGM や商標、撮影禁止場所の確認に加え、動画編集ソフトや素材サイトの利用規約も必ず読み、適切に遵守しましょう。

### 2 受講者の感想

- ・周知の方法に関して、具体的な改善点等を踏まえながらお話して下さったので、とても勉強になりました。
- ・「こんな機能もあるの？」と思うような新たな発見がたくさんありました。知らないことがこんなに多いとは驚きでした。
- ・SNS 告知や Web サイト用のお知らせ文を修正する演習を通じて、多くのことを学びました。ただ単に読みやすい文章にするだけではなく、ユーザー視点に立って「何を最も伝える必要があるのか」を見極めながら文章を作る重要性を実感しました。